

【トピックゼミⅡ】文献検討を行ってみよう



学生の小さな疑問から課題を見つけ、先行研究をもとに課題解決に向けた検討を行いました
ゼミの最終回では検討した内容を自分たちの言葉で発表し、質疑応答も行いました

～最終発表会～

男子看護学生が抱える困難感とその要因

テーマ設定理由・目的

理由

看護師は女性が多い職種であり、男子は少数派として特有の困難を抱えやすいと考えられるため。男子学生が抱えている困難感や不安を女子学生の皆にも認識してもらうため。

目的

男子看護学生がどのような場面で困難感を抱いているかを文献を分析する中で明らかにする。



発達障害のある看護学生の実態と感ずる困難

まとめ

- ◎ 看護学生の2割程度にADHDの傾向がある
- ◎ 発達障害を有する学生は何らかの支援を求めている
- ◎ 発達障害のある看護学生・・・対人関係・学習における困難
具体的な指示がない状況理解の困難さや、複数人での会話、周囲の音刺激による集中困難など、学習・実習場面における困難



発達障害のある看護学生が安心して学び、能力を発揮できるよう、個々の特性に配慮した継続的かつ具体的な支援体制の構築が必要である。



子供の食物アレルギー予防

現状

- ・日本では食物アレルギーの有病率が増加
- ・乳幼児期に多く発症
- ・約9割が学童期までに自然耐性を確保する
- ・主なアレルゲンは牛乳、卵、大豆
- ・食物アレルギーの治療法は確立されていない



～学生の学びより～

- ・初めての文献検討を通して、看護研究において文献を読むことの重要性を感じた。
- ・アレルギー児の親は精神的な負担が大きいため、看護師は正しい知識を持つだけでなく親の不安に寄り添いながら支援していくことが大切である。
- ・社会が多様化していく中で、どのような学生でも安心して学べる環境を整えることが、将来の質の高い看護の提供にもつながると考えた。
- ・できないことに目を向けるのではなく、本人の得意なことや努力しているところに目を向けることが学習や実習への前向きな参加につながるのではないかと。



2025年度 後期 在宅看護学講座

2年生

【トピックゼミⅣ】災害についてさらに学びを深めよう



前期に続き、課外学習・講義・文献検索等を通して「災害」への対策を考えました
ゼミの最終回では検討した内容を自分たちの言葉で発表し、質疑応答も行いました

～課外学習 in 四季防災館～

～DMAT活動についての講義～



風雨災害体験



応急救護体験



流水体験



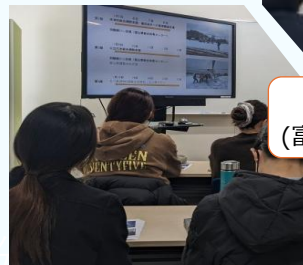
地震体験

Disaster Medical Assistance Team

災害時に派遣される医療チームのこと



講師 DMAT隊員
(富山大学附属病院 看護師長)

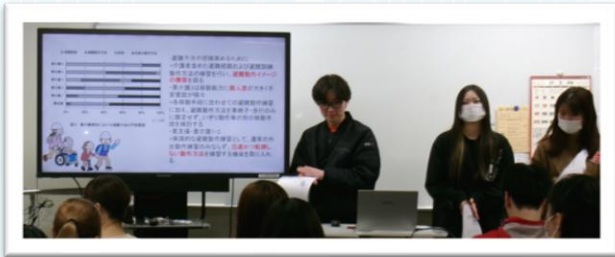


～最終発表会～



高齢者が安全に避難するために必要なこと(水害)

暴風雨への対策



冬の災害と対策



～学生の学びより～

- ・地震の揺れの最中は強い恐怖を感じ、実際の災害時に平常心を保つことの難しさを感じた。
- ・DMATの方から実際の能登半島地震での活動について話を聞き、災害時における情報共有の重要性を学んだ。
- ・特に在宅療養を行う高齢者は自力での避難が困難なことが多く、一般の避難者とは異なる課題を抱えていることが分かった。
- ・日頃からの備えと地域での支え合いが、災害時の被害の軽減につながると考えた。



2025年度 後期 在宅看護学講座

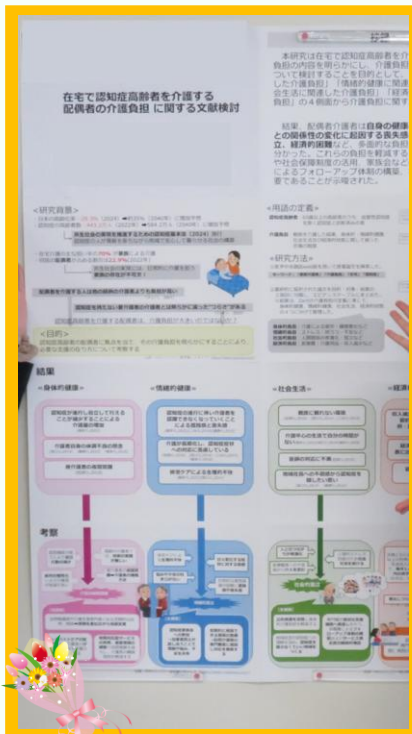
4年生

【看護研究Ⅱ】

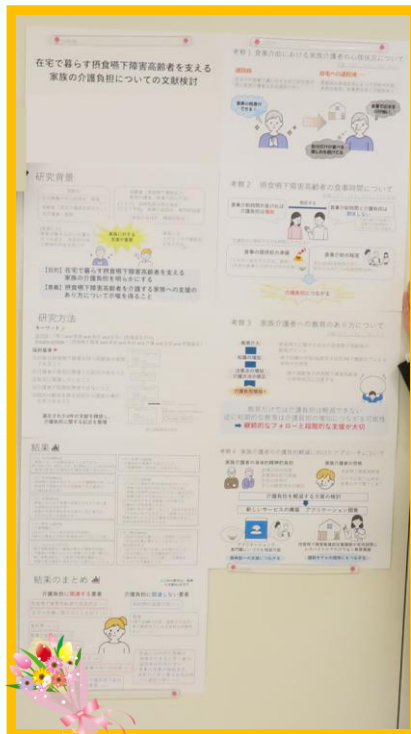


前期・後期を通して、グループで研究テーマを設定し、総説論文を作成しました
その成果をポスターにまとめ、2月に学内にて発表を行いました

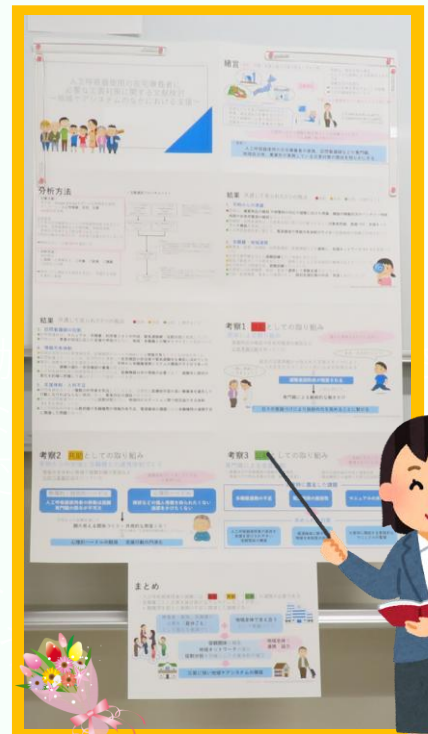
～看護研究発表会～



在宅で認知症高齢者を
介護する配偶者の
介護負担に関する文献検討



在宅で暮らす
摂食嚥下障害高齢者
を支える家族の介護負担
についての文献検討



人工呼吸器使用の
在宅療養者に必要な
災害対策に関する文献検討
～地域ケアシステムのなかにおける支援～



4年生の皆さん
ご卒業おめでとうございます
在宅看護学講座一同